

講義コード	21K0237501	授業形態	講義	事前登録の有無	なし	担当者氏名		開講期	
科目名	データサイエンスと価値創造				松尾 忠直		1期		
履修前提条件									
授業の目的	データサイエンスの基礎知識をある程度身につけた上で、実社会でのデータサイエンスの実装について学ぶ。ここでは、データサイエンスが、ビジネス、社会、スポーツ、観光といった分野でどのように使われ、また、どのような応用が求められており、それをどのように提供していけばいいのかを考えることを目的としている。実社会で、データサイエンスを用いて価値創造するには何が求められているのかを実感させる講義とする。								
到達目標	データサイエンスを用いた価値創造の方法・可能性について十分に理解できる。 自らの関心のある分野を選び、それに関してさらに勉強を深めることができる。								
授業外学修内容・ 授業外学修時間数	この科目では、授業で学んだ要点を復習し60時間以上の授業外学修を行うこと。								
授業計画	<p>授業ガイダンス動画 受講上の諸注意</p> <p>【第1回】価値創造の基礎1：数理・情報的なデータ処理・分析（松尾）  【第2回】価値創造の基礎2：経済・ビジネス系の価値創造（辻村先生）  【第3回】データサイエンスと社会1：社会・GIS（松尾）  【第4回】データサイエンスと社会2：自然（成塚先生）  【第5回】データサイエンスと社会3：観光（大井先生）  【第6回】データサイエンスとビジネス1：マーケティング（伊藤先生）  【第7回】データサイエンスとビジネス2：サービス（白川先生）  【第8回】データサイエンスとビジネス3：スポーツ（永田先生）  【第9回】データサイエンスと政策1：統計（高部先生）  【第10回】データサイエンスと政策2：金融（辻村先生）  【第11回】データサイエンスと政策3：EBPM（西崎先生）  【第12回】データサイエンスと価値創造：（干場先生）  【第13回】総括（データサイエンティストが作る未来）</p>								
成績評価の方法	平常点（授業中課題を含む授業への取り組み姿勢）：100% 成績評価にはルーブリックを用いる場合がある。								
フィードバックの内容	課題に対する講評を授業内で行う。								
授業実施形態について	オンライン授業								
教科書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『授業時に資料を配付する。』									
指定図書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『データサイエンス設計マニュアル』	スティーブン・S・スキーナオライ		2020	9784873118918					
参考書									
書籍名	著者	出版者	出版年	ISBN/ISSN					
『ハッカーと画家』	ポール・グレアム	オーム社	2005	9784274065972					
教員からのお知らせ	授業には積極的に参加すること。								
オフィスアワー	本授業に関する質問・相談は学部学科に定めるオフィスアワーにて対応します。								
アクティブ・ラーニングの内容	意見共有								
実践的な教育内容									
その他	授業担当教員へはTeamsのチャット、大学の生涯メールアドレスを利用し連絡すること。								